

平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

1. 学校概要

学校名 広島大学附属小学校 (※正式名称を記載)
種 別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫^{※注1}
 中学校 中高一貫^{※注2} 高等学校
 教員養成大学 専修学校、各種学校
 特別支援学校
 その他 (例: 小中高一貫)
所在地 〒734-0005 広島市南区翠一丁目1番1号
E-mail fuzoku-midori@office.hiroshima-u.ac.jp
Website http://home.hiroshima-u.ac.jp/fushou/
幼児児童生徒数 男子 191 名 女子 187 名 合計 378 名
幼児・児童・生徒の年齢 6 歳 ~ 12 歳
※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

2. 報告期間

平成 29 年 4 月 ~ 平成 30 年 3 月

※報告書提出時点 ~ 平成 30 年 3 月末までの活動は、予定 (見込み) として記載ください。

3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

(1) 活動の概要 (800 字程度 + 活動内容を表す写真数枚)

※チェック事項 1-1、2-1 に対応

(記入例)

当校は、「自主・協同・探究」を学校理念として、ESD の実践・普及の拠点であるユネスコスクールとして、大学、地域のステークスホルダーと連携し、国内外における交流を図りながら、グローバルに活躍するために求められている資質・能力を育み、国際的視野をもつグローバル人材の育成を図ることを研究の課題としている。

具体的な方略として、「小学校全学年を通じての英語科の実践」、「小学校全学年を通じての多文化・多言語交流学習」に係わる学習を行った。

① 全学年 (1 ~ 6 年) での英語科の実践

本校では英語を教科として第 1 学年から導入し、英語を通じて、ことばや文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、「聞くこと」「読むこと」「やりとり」「発表」「書くこと」などの英語コミュニケーション能力の基盤を育成した。これらの能力を育成するため、Core・CLIL・Active の三つの視点からカリキュラムを作成した。

② 多文化・多言語交流学習に係る教育

【1年生】

・1学年年下の広島大学附属幼稚園の年長児に小学校の学習や学校生活について紹介する活動や附属幼稚園にある探検の森で楽しく遊ぶ活動を行った。そこでは、自分の思いを伝えたり、相手のことをたずねたりして、お互いに楽しく遊ぶことができた。また、初めて出会う人や環境に対して、ものおじすることなく積極的にかかわることができた。

【2年生】

・学校近隣の老人会の方と交流活動を行った。具体的には、①昔遊びの発表会、②昔遊び交流会、③折り紙交流会を行った。

【3年生】

・江田島市において1泊2日の「海辺の生活」を実施し、地元の小学校3年生との交流学習を行った。具体的には、①交流クイズ大会、②交流アート、③交流給食を行った。

【4年生】

・2泊3日の「林間学校」において、附属国民学校時代に本校児童が集団疎開していた全政寺（広島県庄原市西城町）に行き、当時の様子などについて住職さんのご説明・ご講話を聴いた。また、地元の西城小学校4年生との交流も実施し、それぞれの学校について紹介し合うことなどを通して、都会の学校と山村の学校間の理解を深めることができた。

【5年生】

・日本に研修に来られたフィリピンの教育関係者の方々30名と交流活動を行った。事前学習では、日本伝統的な遊びや食文化・食事マナーについて文章にまとめ、英語で表現するために必要な語彙や表現を学習した。また、交流本番では、両国の伝統的な遊びをお互いに紹介して活動したり、ともに食事をとったりしながら、食文化・食事マナーについて英語で伝え合った。

【6年生】

・「研修旅行」のプログラムの一つとして、京都大学大学院生（留学生）の方々との交流学習を行った。事前学習では、英語科の学習で、留学生の方に紹介するために広島の文化や歴史について英語で表現するために必要な語彙や表現を学習した。また、交流本番では、小グループに分かれて、英語による自己紹介・ミニトーク・ゲームを行ったり、自国の文化・歴史・特色等を紹介し合ったりした。



【5年生：フィリピンの方との交流】【6年生：留学生の方との交流】

(2) 活動の詳細

① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

ア. 活動分野 (複数選択可)

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 環境	<input checked="" type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input checked="" type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input checked="" type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input checked="" type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他()		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力 (複数選択可)

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input checked="" type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input checked="" type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入)	

ウ. 活動時間 (複数選択可)

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input type="checkbox"/> 5. その他(自由記述)	

エ. 使用した教材 (書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名)

--

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

学校教育におけるグローバル化に対応した人材育成、さらにはグローバル化に対応する人材として、どのような資質・能力を小学校段階で育成すべきかを明らかにしている。具体的には以下の5点を視点として教育課程を構造化している。

- ①学校教育におけるグローバル化に対応した人材育成
- ②育てたい資質・能力の設定
- ③小学校全学年を通じての「英語科」の実践
- ④小学校第1学年からの「社会科」の実践
- ⑤小学校第1学年からの「理科」の実践

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

- ・ 毎週月曜日に研究部会を実施し、研究を推進。
- ・ 月1回拡大研究部会（全教科代表で構成）を実施し、研究を推進。
- ・ 月1回研究推進委員会を実施。
- ・ 年3回運営指導委員会を開催。広島大学の5名の先生方からの指導・助言をいただく。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

・ 年2回学校関係者評価委員会を開催。「グローバル化カリキュラムの実践及び検証」についての成果指標・判断基準に対して、自己評価並びに学校関係者評価を行い、次年度の改善策を策定している。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度) ※チェック事項 2-2 に対応

・第67回初等教育全国協議会にて、第1・3・5学年「英語科」の授業公開並びに授業別協議会を実施。全国から200名以上の参会者があり、英語科授業のあり方について意見交換を行った。
・英語科協議会を開催。鳴門市・広島市・本校の3名が実践発表を行い、英語科授業のあり方について意見交換を行った。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成(地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など)
(200字程度) ※チェック事項 2-3 に対応

・広島大学との協働・交流を積極的に実施。多くの海外視察受け入れ・授業公開、留学生交流を行った。

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成(200字程度) ※チェック事項 2-4 に対応

・特に実績なし。

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）
※チェック事項 2-5 に対応

- ・ 小学校全学年を通じての「英語科」の実践
- ・ 小学校第1学年からの「社会科」の実践
- ・ 小学校第1学年からの「理科」の実践

- (3) 平成30年度の活動計画（200～400字程度）

- ・ 策定中